

平成 29 年度「特別支援教育に関する実践研究事業（次期学習指導要領に向けた実践研究）」  
成果報告書

受託団体名	石川県
-------	-----

## I 概要

### 1 モデル校の一覧

設置者	学校種	課程又は障害種	学校名（ふりがなを付すこと）
石川県	特別支援学校	知肢	いしかわけんりつめいわとくべつしえんがっこう 石川県立明和特別支援学校

### 2 研究課題

障害のある児童生徒のための教科の改善・充実などについて、次期学習指導要領改訂に向け、新しい時代に求められる資質・能力を踏まえた特別支援学校における指導等の内容を検討し、児童生徒一人一人の可能性を最大限に伸長する教育課程等の在り方について考える

### 3 研究の概要

新学習指導要領とその趣旨を踏まえ、新しい時代に求められる障害のある児童生徒の資質・能力を育成する各教科等の指導内容や指導方法等の改善・充実を図るため、教育課程や授業づくりについて以下のような方法等で検証する。

- ・「これからの時代に必要とされる資質・能力」を本校では「つきたい力」と捉え、各学部において児童生徒の実態や発達段階を踏まえた各教科等における「つきたい力」を明確にしていく。
- ・単元（題材）設定ありきであった従来の指導内容を「つきたい力」の視点から見直し、精選を図る。
- ・「国語」・「数学」などの教科等におけるの指導において個別学習やプリント中心の現状の授業スタイルの改善・工夫を図るため「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業づくりを進める。
- ・効果的な ICT 機器等を含む教材・教具の開発や効果的な活用の在り方について、授業における効果を組織的に検討し、共有する。
- ・児童生徒に「何が身に付いたか」という学習の過程や成果を適切に評価し、指導方法の改善や学習意欲の向上のための授業における学習評価の充実を図る。

### 4 研究の成果

- ・学部目標から児童生徒の目指す姿を見直し、発達段階に応じて段階別の育成を目指す資質・能力を踏まえた「つきたい力」を明確にすることができた。
- ・「つきたい力を考えるシート」（試案）を作成し活用することで、各学部で設定した研究対象教科において単元ありきではない系統的で段階的な単元の精選や配列に改善できた。
- ・設置や使用が容易なウェアラブルカメラを使用することで、指導方法等について分析・考察する機会を多く持つことができ、より良い授業づくりにつながった。
- ・大型モニターやプロジェクター等を活用し、視覚的にわかりやすく教材を提示する意識が高まり、児童生徒の思考・判断を促し、自主的な学びを導く授業改善につながった。
- ・2月の研究協議会では、1年次の研究の成果と課題を報告書（研究紀要）と「つきたい力を考えるシ

ート」集を配付するとともに、研究授業や分科会協議などによって本校の研究内容や次年度の研究につながる方向性や取組等を共同研究者や県内外から100名を超す参加者と共に研究協議することができた。

## 5 課題と今後の方策

今年度の課題としては、研究対象とした教科とその他の教科等との関連について検証することや「つきたい力を考えるシート」で改善された指導内容が活かされる授業づくりについて授業改善との関連を明確にしていくことが挙げられる。

今後はこれらの課題の改善のため、研究授業等の指導案に「他教科との関連」や「主体的・対話的で深い学び」の視点を明記し、この2つの視点を指導内容や授業の改善に加えながら研究を進める。また、各学部で検討した指導内容や授業改善を、学部を超えて共有し、小学部・中学部・高等部につながる児童生徒一人一人の可能性を最大限に伸長する教育課程等の在り方について考えていく。